

早良区少年愛護パトロール員だより

～安全・安心の地域をつくるために、パトロールでの優しい声かけをお願いします～

令和元年10月24日 /編集・発行 早良区総務部地域支援課振興係

第2回 早良区少年愛護パトロール研修会

令和元年9月30日（月）にパトロール員研修会を「子どもの村福岡」で行いました。



子どもの村福岡の外観です。
研修日は雨模様でしたが、周囲を緑に囲まれ、穏やかな空気が流れていきました。



研修が行われたセンターハウスの“たまごホー
ル”です。床や柱は、九電から寄付された使
用済みの木製電柱が使われています。

研修でのお話は、主に以下のとおりでした。

1 「里親」と「子どもの村福岡」について

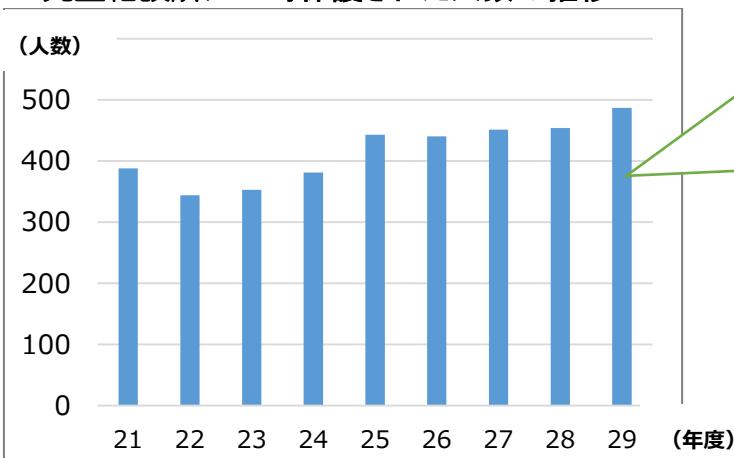
「子どもの村」は、2010年4月に開村し、児童相談所から委託された、家族と暮らせない子どもたちを受け入れ、育親（いくおや）が各家庭で育てています。各家庭では、育親と3~5人の子どもたちが生活していて、親や兄弟と暮らすように生活し、地域の子ども会や行事に参加するなかで、社会とのつながりも学んでいきます。

村は、家族の家5棟とセンターハウスで構成されています。

(1) 福岡市の状況

福岡市では、虐待相談件数が増加しており、子どもの一時保護やショートステイの利用数も増加しています。家族と離れて暮らす子どもたちが増えているとのことでした。

■児童相談所に一時保護された人数の推移

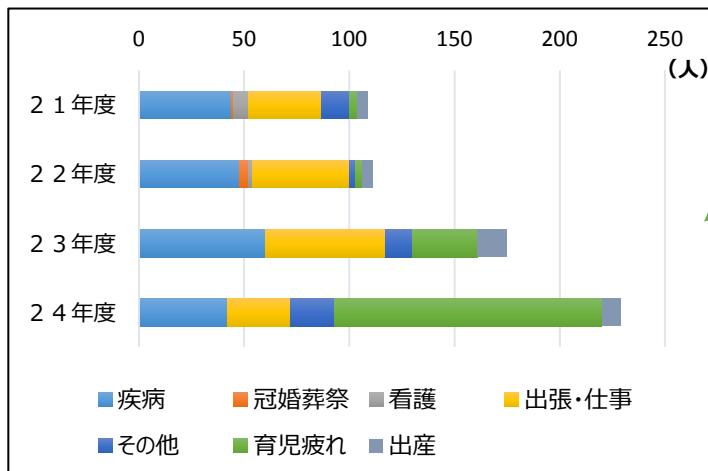


平成29年度の一時保護の実人員を
相談別で分類すると以下のとおり

養護相談	395人	(うち虐待 105人)
非行相談	44人	
育成相談	43人	
その他	5人	
計	487人	



■ショートステイ利用理由別利用者数



ショートステイは、親の理由で家庭での養育が困難な場合に養護施設などに短期間預かる制度です。

以前は、「親の疾病」「出張・仕事」が主な理由でしたが、「育児疲れ」が急増しています。

「福岡市は、マンションなどの共同住宅の割合が他都市と比べて高く、親が周囲に助けを求めることができず孤立傾向にある」とのことでした。

○共同住宅の割合(H25年度)
福岡市 77.6%
大都市平均 67.0%

(2) 子どもの村福岡の活動

① 子どもの村での子どもたちの養育

② 困難を抱える子どもたちとその家族のための支援

里親・里子支援／一時保護・ショートステイの受入／里親制度の普及啓発

③ 人材養成プログラムの開発と人材育成

家庭養護の担い手や支え手となる人材の養成

研修は、専門家グループや多分野と連携して実施

④ 地域とともに、地域の一員として

地域との「覚書」で「今津の子としてみんなで育てる」とし、地域と情報共有。

2 子どもの村福岡の特徴

日本初の子どもの村で、里親養育を実践しています。里親登録した育親が村に移り住んで、専門家チームの支援を受けながら子どもたちと家庭を築きます。

ミッションは、「全ての子どもは、家族と暮らし、愛され、尊重され、守られる」。

子どもの村での実践を通して里親養育における課題や成果をまとめ、日本の家庭養育のひとつのモデルとして広く共有していくことをめざしています。

3 まとめ

村長のお話に「愛着」という言葉がたくさん出てきました。児童相談所に一時保護された子どもたちは、帰宅する子ども以外は、施設か里親、その他機関等に移りますが、愛着の形成が必要な子どもが主に里親に預けられたとのことでした。

福岡市は里親委託率が高く（福岡市 43.1%，全国平均 18.7%），福岡市内の各地域で暮らしている子ども（里子）もたくさんいます。パトロール員のみなさんは、日頃から声かけや見守りをされていると思いますが、地域の子としてみんなで育てるという思いが大切だと感じました。

4 ご参加いただいたパトロール員の皆さんからのアンケートより（参加者 23 人）

Q1 青少年の健全育成や非行防止へ向けて、今回の研修は参考になりましたか。

- ① 参考になった 15人(65%) ②まあまあ参考になった 8人(35%)
②あまり参考にならなかった 0人(0%) ④参考にならなかった 0人(0%)

Q2 「子どもの村福岡」の説明について、感想・意見をお聞かせください。

(主なご意見より)

- 施設とは違って家庭的な雰囲気の中での生活が、いかに子供の成長に大切であるか実感しました。
- このような施設が身边にあることに驚き感銘を受けました。親の暴力等が原因で一緒に住めない子供の多さに驚きました。
- 地域の方と一緒に子育てしているところが素晴らしいと思いました。
- 存在は知っていたが具体的に知ることができてよかったです。私たちが今できることやすべきことがないか考えさせられました。
- お話を聞くまでは、養護施設だと思っていたので全く違った運営をされていて興味深く、意義ある研修になりました。
- 食べたい献立を聞かれても答えられない子どものお話はとても切なかった。

Q3 本日の研修会での、感想・意見をお聞かせください。

- 外観もとても素敵な建物で子どもたちも楽しそうに過ごしていました。少しでもこの世から虐待など少なくなればと思いました。
- 村長さんの愛ある言葉、設備や環境、地域の方々との交流や行事等、素晴らしいと思いました。
- 何か自分たちにもできることがあるのではと思いました。
- 参加しないと聞くことのできない話が聞けて良かった。

パトロール報告書受理状況(令和元年 10月 23日現在)

少年愛護パトロール員の皆様、パトロールや見守りなどの活動や報告書の提出、有難うございます。

提出枚数 93 枚

提出率 35.4% (6~9月の4か月に毎月67人全員が1枚ずつ提出された場合に対する割合)

該当項目 (96 件)

※10月23日現在

危険箇所	2件	放置自転車	1 件
ゲームセンター	0 件	駐輪・駐車違反	1 件
たまり場	3 件	その他	12 件
危険・暴走行為	9 件	該当項目に○付けが無い	0 件
飲酒・喫煙	1 件	異常なし	67 件

《報告事項の抜粋》

☆危険箇所

- 道路に民家の樹木の枝がはみ出しており、歩行者が車道の部分を歩かなければならない。

※後日、剪定され解消したとの連絡あり。

☆たまり場

- ・校区の公園にて 21 時過ぎに、中 2 女子 2 名、別の公園にて高校生風男子 5 名がたむろしていた。中学校の先生や自治会の人が声をかけて、帰宅するよう促す。

☆危険・暴走行為

- ・校区内にて進入禁止の道路を入ってくる車が多い。また、小学生の通学時間に、送迎のため多くの停車車両があり、その横をスピードを落とさず通過する車が多く危険である。
※早良区地域支援課から警察に相談したところ、個人の意見としてではなく、校区自治会として意見を早良署に挙げていただくと動きやすいとのことである。

- ・校区内にて自転車の無灯火が大人子供とも数台見かけた。

☆喫煙

- ・農道付近でたばこの吸い殻多数あり。夜中にたむろしていた跡と思われる。

☆駐輪・駐車違反

- ・校区内にて違法駐車車両あり。

※悪質で危険と思われれば、他校区の事例と同様に自治会として警察に相談するようお願いした。

☆その他

- ・夏祭りにて終了後中学生が 10 名ほどたむろしてごみを散らかしていたので注意し帰宅を促した。

今後のパトロール活動について（お願い）

※ 皆さま、お忙しい中のパトロールのお願いですでの、残り半年、可能な範囲でのパトロールを何卒よろしくお願いします。

※ 校区では様々な（定期的）パトロールの機会があると思います。地域パトロールの機会に限らず、日常生活の中で感じたことや気付きなど、“生活者”としての視点で、地域の状況を把握されていることだと思います。“異常なし”でも、気づいたことをパトロールの事績として残していただきたく、報告書の提出を是非ともお願いいたします。

※ 校区の状況は日々、変化します。継続したパトロール活動及びその意識は、非行防止・青少年健全育成活動につながり、ひいてはそれが「安心・安全のまちづくり」につながるものと信じております。早良区役所に提出いただいた報告書には、振興係で回覧し情報の共有を図っています。危険個所の補修や外灯の設置については調査・検討の上、補修・設置となります。